「好きを仕事に」第2回音声文字起こし

皆さん、こんにちは。孫将人です。今回は第2回目ということで、「好きを仕事に」というテーマでお話ししていきます。

第2回目になりますが、前回は本当にたくさんのコメントをいただきまして、ありがとうございます。今回も気軽に、リラックスして聞いていただければと思います。

コメントを書くと、変化は始まっていく？

コメントは今の時点で168件ほどいただいておりまして、もうちょっとしたら増えるかもしれません。読んでいる中で、共通するものが見えてきました。それは、これからお伝えしていきます。

このコメントを書いてくださっている時点で、もう、ご自身の中で変化は始まっていきます。

「これからどうしよう」「悩みがあります」「不安です」「課題があります」と、皆さんいろんな角度から書いてくださっているんですが、書くことでひとつ明確になって、「じゃあここからどうしようか」と方向性が決まってくる。これはとても大切なことだと思っています。

ノウハウよりも、その奥にある「自分らしさって？」

ノウハウももちろん大切なんですけれども、スピリチュアルだからというわけではないんですが、その奥にある「自分はどうありたいのか」というところがもっと大切だと思っています。

好きを仕事にする上で、ただ「どうすればうまくいくか」ではなくて、「自分はどうありたいのか」という、自分のあり方というか、自分らしく生きるってどういうことかな、というところに意識を向けていく。そうすると、より自分にあった「好きを仕事に」が見つけやすくなるかと思います。

前回の振り返り ー 金魚鉢から出ても、、、

前回は金魚鉢のお話をしました。金魚鉢から出たら可能性は広がるんですよ、というお話で、「なるほどなるほど」と聞いていただいた方もすごく多かったんですけれども──ただ、やはり何か、環境を変えようと思っても不安が出てくる。

お金のこと、生活のこと、家族のこと。子育てをしている方、親の介護がある方、コメントでもたくさん書いていただいておりました。なかなか変えられないものもある、ということですね。

それは、それでいいと思うんですよ。いきなり全部変えようとすると、しんどくなってしまいますので、まずちょっとだけでも変化を起こしていく、というのがとても大切かなと思っています。

今、自分が金魚鉢の中にいるというのが分かった。でも、外の世界がどんなものかは、まだ見えていない。金魚鉢の外に出たときに自分がどう変わるかも、自分自身ではよく分からない、ということもあるかと思います。

でも、これ、一度そういう外に出ると、枠を超えると、「ああ、今まで何でこんなことに悩んでいたのかな」という感覚にもなっていきます。

これはボク自身もそういうふうに感じていますので、当時思っていたこと、悩んでいたことというのは、後から振り返るとそこまで力を入れてやることだったのかな、とすごく思うんですよね。

ですので、今あんまり不安に思ったりしなくても大丈夫だと思います。ボクもしっかりしているわけではありませんが、それなりに星のしずくも結構育ってきていますし、なんだかんだ、ちゃんとできるようになっていきますので、皆さんも安心して、気軽に、どっちかというと力を抜いたほうがいいですよ、というのが今回のテーマなんです。もっと気軽に考えていただければなと思います。

「セルフ金魚鉢」── 自分が自分に課しているルール

では、その変えられない環境を、どうやって変えていくのか、というところなんですけれども──。

金魚鉢というのを言い換えると、外からの影響というのも、もちろん大きいんですけれども、ただ「こうするのが正解」という、まわりだけじゃなくて自分の思い込み、自分が自分に課しているルールというのが山積みになっている、ということがあるかと思います。

こう山積みになる理由なんですけれども、なぜそうなるのかと言うと──

子どもの頃というのは、そういうルールはなくて、結構身軽だったと思うんですよね。

でも、大人になるとどんどん積み上がっていくものがいっぱいある。

仕事のこと、家族のこと、やるべきこと。いろんなものが後から後から積み重なっていって、当時はとても大切で、自分自身も大切にしていたことだったものもあると思うんです。

でも、時間が経つと、それ今要るの？というルールもあるかと思います。

ある意味、ここに書いているとおり「セルフ金魚鉢」という言い方をしていますけれども、そういう状態に陥っているのが大きいのかなと、皆さんのコメントを読んで思っておりました。

積み木のたとえ ー 支えていない積み木は、外していい

これをもっと具体的に例えるとどうなるかと言うと、こちらです。見て分かるとおり、積み木になっているんじゃないかなと思ったんですね。

積み木を積み上げていくと、下の土台からどんどん上に上がっていく。

これはある意味、人が成長する上での段階ではあると思うんです。

でも、この絵を見たときに、積み木を支えているのはどれかと言うと──意外と装飾だけの積み木もあったりとか、これ1個、あるいは2個抜いても上のものが倒れてこない、そういった積み木もあると思うんです。

一方で、ちゃんと支えているものもあって、それを抜いてしまうとガラガラっと崩れてしまう、ということもあるので、自分の中で本当にやるべきこと──支えているもの──と、もうこれは要らないんじゃないの、土台として役に立っていない積み木というのは、抜いてしまってもいいんじゃないか。

これが、第1回目のレッスンで皆さんからいただいたコメントを読んで、感じたことです。

「ああ、積み木みたいだな」と思って、この積み木の絵を持ってきたんですけれども──要らない積み木、外していい積み木がいくつかあって、外したものに対してエネルギーが余るわけですよね。

その余ったエネルギーを、本当に必要なところ、成長していく方向、積み上げていく方向に注力していくのがいいですよ、というところを、ちょっとイメージしてもらえたらなと思っています。

今日は「外していい5つの積み木」を見ていきましょう

つまり、今日は、外していい5つの積み木を一緒に見ていきましょう、ということで、早速ですが、前回のコメントの中で、皆さんの傾向が大きく分けて5種類くらいありましたので、それぞれ見ていこうと思います。

外していい積み木①「家族や周りの理解を得てから始めるべき?」

1つ目は、「家族や周りの理解を得てから始めるべき?」というところですね。

これは皆さん、もちろん家族の理解があったらすごく助かる部分もあると思うんですけれども──あんまり、こう理解してくれるものでもないですし、理解しているようでいて実はそこまで理解していないとか、反対したとしても、そんなに深い意味で反対しているわけでもなくて、とりあえず何か言ってみた、みたいなことも多いんですね。

ですので、あんまり振り回されなくてもいいんじゃないかなと思っています。もっともっと自分を優先してもいいですよ、と。どうしても家族の同意が要る、まわりの理解が要ると、そこにエネルギーを注ぐんじゃなくて、そのエネルギーの積み木はもう外してしまって、外した分のエネルギーを、自分の好きを優先するほうに注いでいくほうがいいんじゃないですか、ということです。

もちろん、子育てとか介護、あるいはお仕事で今優先しなければいけないものがあるというのは、それは1番優先してもちろんいいんです。でも、それでも自分のための時間というのは、少しずつ作っていく。ちょっとぐらい積み木、外してもいいかな、と。

自分が抜けてしまったらまわりの人が困ってしまう、というものがあったとしても、1度試してみてもいいと思うんですよね。

「本当に私がいなかった場合どうなるの?」と、ちょっと休んでみる。そして、まわりの反応を見て、「意外と、ぶつくさ文句を言われながらも、みんな何とかやってくれる」という可能性もありますので、いろいろ試してみる価値はあるんじゃないかなと思っています。

自分を優先するというのは、自分のための時間を作っていく、自分1人になれる時間を作るところから。それは、好きなこと=遊んでいると思われて嫌だ、というコメントもありましたけれども、もういっそうのこと、「遊んでいるよ」と言ってしまってもいいかと思います。

好きを仕事にするって、ある意味、贅沢とまでは言わないですけれども、自分らしく生きる、人間らしく生きる上での次のステップですので、次のステップに行く上で、その「遊んでいる」という気持ちはすごくよいと思います。

別に遊んでいると思われてもいい。遊ぶ時間も、やっぱり人間には必要ですから。

だからといって、自分勝手にずっと暴走するわけではありませんので、ちょっとずつ自分の時間を持っていくと良いかなと思います。

外していい積み木②「好きが分かってから始めるべき?」

2つ目です。外していい積み木がもう1つありますよ、ということで、「好きが分かってから始めるべき?」というところ。自分の好きが分からない、というコメントもいただいておりました。

これは、今は分からなくていいです。好きが分かってから何かしようとしなくてもいい。分からないまま進めてもいい、ということですね。

今、自分が金魚鉢状態だと分かって、でも自分の好きが分からないし、どうしたらいいか分からない、という段階の人もいるかと思うんですけれども、「好き」という言葉に囚われずに、何か心地よさとか、あるいは逆に、やりたくないことをイメージして、「あ、これだけはもう絶対やりたくない、それ以外のこと」みたいな観点から考えてみてもいいと思います。「分からない」と気づいているところで、まずはOKです。

好きが分からないまま仕事をしていて、「これ本当に自分が好きなのかな」と、ちょっと哲学的に考えてしまう人もいるんですけれども――

それが苦痛でなくて、ちゃんと売上が上がっていて、お客さんに喜ばれていて、自分も嬉しい、というのは、やっぱり「好き」と言ってもいいと思いますので、あんまり深く考えずに、「売れると嬉しい」というパターンも実際にありますので、「あ、これいいな」ぐらいのところからスタートしてみても良いかと思います。

好きが分からない、あるいは別のコメントで、自信がない、スキルがない、というのもありました。

これも、今の時点で自分が自信がない、スキルがない、と分かっているわけですので、その時点で、よそで働いて自信をつけてみたり、スキルを高めていくというのも1つの方法です。

やっぱりそこは無理せず、いったん下積みというか、アルバイトでもいいんですよね。

何かスキルが身につくような、実践して自信がつくようなお仕事で、実際によそで働いて、いきなり自営業ということじゃなくて、そういったところで力をつけてからでもいいわけです。

好きを仕事にするというのは、いきなり「さあ、好きを仕事にしましょう」というわけじゃなくて、今、分からないところからスタートする。この時点からもう始まっていますので、のんびりとここから進めていくと良いかなと思います。

外していい積み木③「一度始めたら、ずっと続けるべき?」

3番目です。これも多いんですけれども、「一度始めたら、ずっと続けるべき?」というところ。

ボク自身もそうなんですけれども、ずっと試行錯誤しているわけですね。試行錯誤というのは、ずっと何か実験している、試している感じで、本番だけれども、ずっと試しながら、うまくいかない時もあるし、うまくいく時もあるし、と。

本当の本当の初期であれば、お客さんがいない、どうしたらいい、というところであれば、ちょっと、ままごとからスタートしましょう、と変な書き方をしてしまったんですけれども、例えばお友達をお客さんにして、練習になってもらって、そこからスタートしてもいいわけです。

徐々に慣れていく、ということでもいいと思います。

コメントで「好きを仕事にしたら、なんかこれ違ったので、今やめて違うことしています」と書かれている方もいたんですけれども、それはすごくいいことだと思いますね。

1度始めたら、ずっと同じことを続けなくてもいいわけで、好きなことってやっぱり変化したりとか、初めはうまくいっても、いろんな要因で自分も変化する、まわりも変化する、ということもあるので、違うことを始めてもいい。

撤退してもいいし思い切って、損切りするのも──大きな損だと困ると思うんですけれども──1回終わらせてしまうというのも1つの方法です。

ですから、ずっと同じことにこだわり続ける必要は、あんまりないかなと思います。

そうは言っても、撤退していいって言われても「大金をかけたんです」ということになるんでしたら、やっぱり逆算して、初期費用をあまりかけずに、初めの段階ではちょっとやってみる、というのが1番良いかと思います。

いきなり、好きを仕事に、と全てそっちにエネルギーを注いで、うまくいくというわけでもありませんので、何事も過渡期ってありますからね。

副業段階で本業があって、副業でちゃんと伸びてきて、ちゃんと土台ができてからそっちにどんどん移行していく。そういったプロセスがありますので、結構そのプロセスはずっと続いていくものだったりするので、「いつまで経っても試行錯誤なんですけど」ということがあったとしても、意外と、自分の中でしっくり来るまで、もうちょっと続けてもいいのかなと思います。

外していい積み木④「やることを増やしていくべき?」

4番目。3番目と4番目は繋がっているんですけれども、「やることを増やしていくべきですか?」ということ。これこそ、外していい積み木のことですよね。やめていいわけです。今まで積み上げて、ここを支えているつもりのものを、どんどんやめて、減らしていく。

今、自分が何か、集客でなんか嫌だとか、電話での対応はしたくないというのは、もう、それはやめてしまってもいいと思うんですよ。

星のしずくでも、過去に様々なものがありましたけれども、例えばお支払い方法で、コンビニ払いというのがあったんですが、今、それやめています。

やめても、ちょっと便利だったという人もいるかもしれないですけれども、やめてもそこまで皆さん困っていない、というお客さんであれば、やめちゃっていいんじゃないかなと。

その代わり、自分やお客さんが喜ぶことに注力していく、というのが良いかと思います。

何か新しいことをしようとするとき——これは全てに共通するんですけれども——何かやめてしまわないと、新しいことはできませんよね。

パンクしていきますので、好きを仕事に、というときにも、あるいは好きをすでに仕事にしているという方であったとしても、何か新しいことをするときには、まず「今、何をやめるか」を決めていく、というのもすごく大切かなと思います。

今のお仕事が本当に忙しくてヘトヘトで、自分1人の時間も作れない、ということであれば、それもやっぱり減らしていくことは大切かなと思います。

自分の時間を作っていく。これは、いろんな理由を作っていいと思うんですよね。家族の事情で介護があるから、ということで会社に説明して、自分の時間を確保していくというような世渡りは大切だと思います。

外していい積み木⑤「集客をしなくてもいい」

最後に、これも多かったんですけれども、「集客が不安です」、「集客で困っています」という方も多かったですね。切実だと思います。もちろん、集客は世の中的にはやっぱりしないといけない、ということはあると思うんですけれども──本当はね、集客しなくてもいいはずなんですよね。

集客していなくてもうまくいくビジネスって、結構たくさんあって、どのジャンルでもです。

それは、口コミである程度勝手に広がっていく、というもの。

そういった流れにしていく、これは仕組み作りというところですので、次回以降のレッスンの中で触れていくと思うんですけれども──やっぱり「集客、集客」って、お客さんからしたら、、ちょっと違和感があるんですよね。「集客しないと来ないの?」みたいになってきますので。

実はそうじゃない。集客しなくても、ちゃんとスキルがあるとか、お客さんが喜ぶことをしている、そっちに注力する、ということが結構重要で、集客って、どちらかと言うと、新しいお客さんにきてもらう行為ですので、ずっとそれを続けるんですか?ということですよね。

本当に大切なのは、お客さんになってくださった方へのフォローとか、もう1度リピートしてもらうこと。何度も何度もリピートしてもらうというのがすごく重要ですので、ずっと集客を意識ではなくて、今いったん集客のことは忘れましょう。初めの段階ではほとんど要らなくて、まずはそこを大切にしたほうが良いかなと思います。

インスタで毎日投稿しないといけない、ということは、やったほうがいいんでしょうけれども、それよりも前に何をすべきかと言うと、お客さんが何が欲しいのかという、本音の部分を知るというのが先ですよ、と。

先ほどは、質の良いサービス、質を高めていくこと、スキルがあったほうがいいよ、というのをお伝えしましたけれども、例えばスーパーで、ちょっと郊外のスーパーとかでしたら、駐車場が広いというだけで集客できるところもあります。

すごくこだわった商品が置いていなくても、お客さんはそっちは重視しているんじゃなくて、行ったときにちゃんと車が止められて買い物ができる、そういったものを求めている場合もあるわけです。

ですから、お客さんが本当に何を求めているのかを、集客するよりも前に、そちらのほうによくよく注力していくことが結構大切ですよ、ということですよね。

実際の話なんですけれども、集客しすぎて、、知り合いで、お客さんがすごいたくさん来て、受注するのが大変で、もう精神的に参ってしまう、というケースがありました。

意外と、今集客できていないほうが、メンタル、自分の心の健康ですごく大切、今が1番いい、という場合もありますので、あんまり「集客、集客」と考えて、好きを仕事にしていたはずなのに、あまりにも忙しすぎて、好きじゃなくなってしまう、というケースもあるので、ここはちょっと気をつけたいところかなと思います。

今日の振り返り ー 5つの「外していい積み木」

今日は振り返りますと、5つの積み木、これ外していいんじゃないですか、実はあんまり関係ないんじゃないですか、というものをお伝えしました。

1つ目、自分をもっと優先していいですよ。

2つ目、好きが分からなくてもいいんですよ。

3つ目、試していいし、うまくいかなくてもいいし、ずっと続いていくんですよ。

4つ目、やめてもいいし、ちょっと減らしていってもいい。

5つ目、集客しなくてもいい。

今回は、皆さん、「こうしないと好きを仕事にできない」と思われている──思い込みと言ったらちょっと失礼かもしれないですけれども──そういったちょっと思いがどうしてもあると思いますので、ここを外していくと、結構気持ちも楽になって、本当に、自分が好きなことをする上での土台を作るための積み木が、手元に本当に残っていくと思います。

今日のテーマ(コメント募集)

今日は、5つの外していい積み木についてお話しました。なにか新しいこと、ここでは、好きを仕事にするうえで、まずはいまある「こうあるべき」というものを外しても、まわりは意外と困らない、自分はもっと身軽になっていく。そういうことってたくさんあります。

そう、そこで、今回は

「いま、あなたが**1**番外したい積み木は何ですか**?**」

ということでコメントを書いていただければと思います。その「外したい積み木」を書いてもらったら、それを意識して、自分の中でも、心のブロックが外れて、「自分らしく、どういうふうな仕事ができるかな」と、さらに自由な発想で進めるようになりますので、ぜひ今回の内容についてコメントいただければと思います。

コメントはこちらから